

■ 河合塾テキスト「地理総合、地理探究（共通テスト対応）〈2025 完成シリーズ〉」演習問題 解説 ■

【第26講】

解答番号	正解	解 説	重要度
1	①	①：正答。A：ア。沖合を流れる寒流のペルー海流の影響を受けて気温の逆転現象（大気の下層が低温となる）が生じ大気が安定するため、海岸砂漠となっている。B：イ。新期造山帯のアンデス山脈にあたり、標高が高いため雪氷がみられる。C：ウ。アンデス山脈の東麓にあたり、森林地帯となっている。	★★
2	③	③：誤文。Gの地域は、安定陸塊に属し起伏の小さな高原がみられる。①：正文。Eの地域は、リャノとよばれる熱帯草原がひろがり、オリノコ川の三角州（デルタ）がみられる。②：正文。Fの地域は、新期造山帯のアンデス山脈にあたり火山もみられる。④：正文。Hの地域は、新期造山帯に属し標高が高く、海洋からの湿潤な偏西風によって山岳氷河が形成されており、U字谷などの氷河地形がみられる。	★★★
3	①	①：M。カンボセラードとよばれる熱帯草原が広がり、大豆やトウモロコシなどの大規模な栽培が行われている。②：K。コロンビアでは、コーヒーやバナナなどの生産がさかんである。③：L。アンデス高地では、冷涼な気候下でジャガイモなどの栽培や、リャマ、アルパカ、牛などの放牧が行われている。④：N。アルゼンチンでは、大土地所有制の牧場であるエスタンシアで牛や羊の放牧が行われている。	★★★
4	②	②：正答。P（マナオス）：カ。アマゾン盆地の天然ゴム集散地として栄えたが、近年はアマゾン開発の拠点として自由貿易地域が設けられた。Q（ブラジリア）：ク。内陸部開発の拠点として、リオデジャネイロから首都を移転させた。平面形態がジェット機を模した計画都市である。R（ベロオリゾンテ）：キ。イタビラの鉄鉱石を利用した鉄鋼業や自動車工業が発達している。	★★
5	③	②：日本。遠距離に位置するため、太平洋岸のチリやペルー以外の国では輸出額の割合は低い。④：アメリカ合衆国。近距離に位置する北部の国ほど輸出額の割合が高くなっている。①：EU。③：MERCOSUR。内陸国のボリビアが、EUへの輸出額の割合が高いとは考えにくい。	★
6	③	③：正しい。ムラートは、ヨーロッパ系白人と、植民地時代にアフリカから奴隷として連れてこられた黒人との混血人種をさす。①：誤り。スペインやイタリアなどヨーロッパから直接移住した人々が多い。②：誤り。ラテンアメリカでは、エクアドルやコロンビアなど多く国々はかつてスペインの支配を受けたため、スペイン語が公用語となっている国々が多い。④：誤り。ラテンアメリカでは、ペルーやボリビアなど多く国々はかつてスペインの支配を受けたため、キリスト教カトリックを信仰する住民が多数を占めている。	★★
7	①	①：パース。南回帰線と南緯 50° 線の間の大陸西岸に位置し、地中海性（Cs）気候に属するため、夏季（12 ～ 2 月前後）に乾燥、冬季（6 ～ 8 月前後）に湿潤となる。②：ブリズベン。南回帰線と南緯 50° 線の間の大陸東岸に位置し、温暖湿潤（Cfa）気候に属するため、年中平均した降水がみられる。③：アリススプリングス。南回帰線の大陸内陸部に位置し、乾燥帯に属するため、年中降水量が少ない。④：ダーウィン。赤道と南回帰線の間位置し、サバナ（Aw）気候に属するため、夏季（12 ～ 2 月前後）に多雨、冬季（6 ～ 8 月前後）に乾燥する。	★★★

8	②	②：誤り。B（マウントホエールバック）の鉄鉱石は日本などに輸出され、周辺に工業地帯は形成されていない。①：正しい。A（ダンピア）の沖合では、天然ガスが産出され、パース付近までパイプラインが整備されている。③：正しい。C（ゴヴ）では、外国資本によるボーキサイト鉱山の開発が行われている。④：正しい。D（ボウエン）では、石炭が産出され輸出港と鉄道で結ばれている。	★★
9	⑤	⑤：正答。キャンベラ：ウ。オーストラリアの新首都で、放射環状路型の街路をもつ計画都市である。シドニー：ア。イギリス人の最初の入植地で、オーストラリア最大の都市である。メルボルン：イ。イギリスへの航路の拠点として発達し、国内第二の都市である。	★★
10	③	③：正答。F：キ。北部は降水量が少なく非農業地域、南部は降水があり羊の放牧地となっている。G：力。中部から南部は降水量が少なく非農業地域、北部は降水があり牛の放牧地となっている。H：ク。北部は降水があり牛の放牧地、中部から南部はグレートアーテジアン盆地の被圧地下水などを利用した羊の放牧地となっている。	★★★
11	①	①：イギリス。旧宗主国でかつては輸出割合が最も高かった。②：日本。高度経済成長期以降、鉱産資源などの輸出が急増した。③：アメリカ合衆国。遠隔地に位置するため、相対的に輸出割合は小さい。④：中国。近年の急激な工業化により、とくに 2000 年代以降、鉱産資源などの輸出が急拡大した。	★★★